

事務事業及び予算の執行実績

(令和7年度分「一部、令和8年度分を含む」)

静岡県立静岡南部特別支援学校

目 次

事務事業の概要	・ ・ ・ ・ ・ 1
事務執行の根拠法令調	・ ・ ・ ・ ・ 1 4
学校施設の概要	・ ・ ・ ・ ・ 1 5
在籍生徒調	・ ・ ・ ・ ・ 1 6
卒業生の動向調（特別支援学校用）	・ ・ ・ ・ ・ 1 7
生徒の状況	・ ・ ・ ・ ・ 1 8
預金調	・ ・ ・ ・ ・ 2 0
郵券等受払調	・ ・ ・ ・ ・ 2 0
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	・ ・ ・ ・ ・ 2 1
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	・ ・ ・ ・ ・ 2 2
委託料に関する調	・ ・ ・ ・ ・ 2 3
負担金支出調	・ ・ ・ ・ ・ 2 5
公有財産調	・ ・ ・ ・ ・ 2 6
行政財産貸付・使用許可調	・ ・ ・ ・ ・ 2 7
主要備品調	・ ・ ・ ・ ・ 2 8

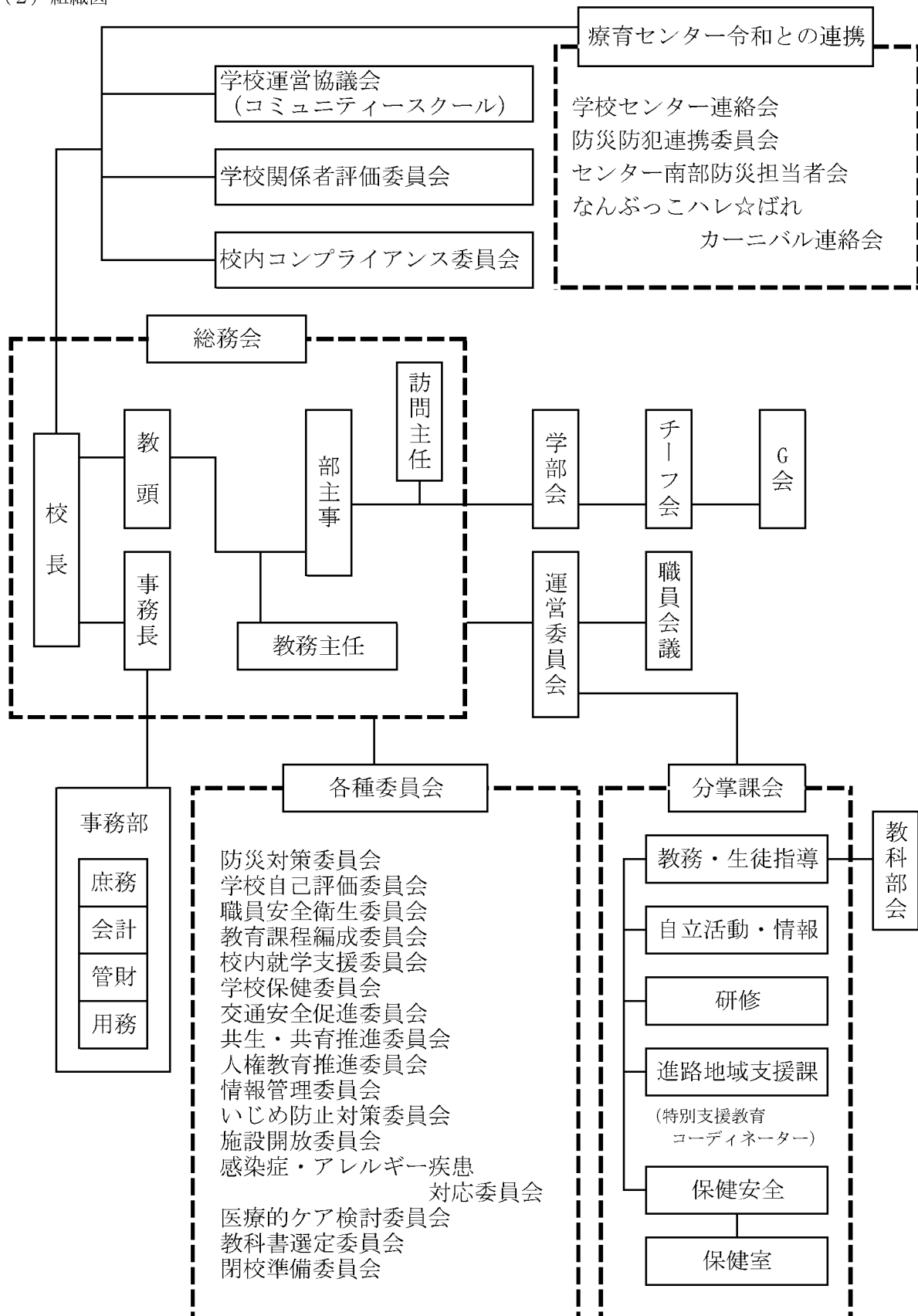
事務事業の概要

1 概況

(1) 学校の沿革

昭和28年 4月 1日	静岡療護園（現静岡済生会療育センター令和）開設とともに、静岡市立西豊田小学校・同豊田中学校の特殊学級が施設内に置かれ教育を開始
昭和33年 4月 1日	静岡県立養護学校設立 静岡療護園の一部を仮校舎として発足
昭和34年 5月 3日	静岡市小鹿1丁目1-24に校舎第一期工事完成（北校舎）
昭和35年 6月30日	校舎第二期工事完成（南校舎）
昭和39年 4月 1日	校名を静岡県立静岡養護学校に変更する。
昭和49年 4月 1日	校名を静岡県立中央養護学校に変更する。
昭和50年 4月 1日	静岡市漆山777に新校舎が完成する。 新校舎を静岡県立中央養護学校麻機校舎と呼称し通学する児童生徒を対象とする。 旧校舎を静岡県立中央養護学校小鹿校舎と呼称し静岡療護園による医療・訓練を必要とする児童生徒を対象とする。
昭和55年 4月 1日	小鹿校舎が独立し静岡県立静岡南部養護学校が設立される。 （小学部及び中学部）
昭和55年 4月 7日	開校式を挙げる。
昭和56年 4月 1日	訪問教育担当校となる。 （志太地区・島田市民病院・いこいの家）
昭和58年 4月 1日	訪問教育担当地区が変更される。 （志太榛原地区・島田市民病院・つくしの家・やまばと学園）
昭和59年10月18日	静岡市曲金5丁目3-30福祉エリア内に新校舎建築工事着工
昭和60年12月14日	新校舎建築工事竣工
昭和60年12月24日	小鹿校舎から新校舎に移転する。
昭和61年 1月 8日	新校舎使いはじめの式を挙げる。
昭和61年 4月 1日	訪問教育担当地区が変更される。（静岡市・島田市民病院）
昭和61年 6月14日	新校舎落成・創立七周年記念式典を挙げる。
平成 2年 6月16日	創立十周年記念式典を挙げる。
平成14年 4月 1日	静岡県立こころの医療センターの訪問教育開始
平成16年 4月 1日	訪問教育担当地区が変更される。（静岡市）
平成20年 4月 1日	校名を静岡県立静岡南部特別支援学校に変更する。
平成21年 4月 1日	静岡県立こころの医療センターの訪問教育が、中央特別支援学校に移管
平成23年 3月23日	創立30周年記念コンサートを開催する。
令和 2年11月 7日	創立40周年記念式典を挙げる。
令和 8年 3月16日	静岡県議会において、令和8年度末（令和9年3月31日）の閉校が可決される。

(2) 組織図



2 目指す学校像

(1)教育目標 「自ら学び 生活を高める 心豊かな子」

自ら学ぶ子：学ぶ喜びを感じながら主体的に学び、考え、行動する子

生活を高める子：自分や仲間を大切にし、互いを認め合い、共に生きる子

心豊かな子：健康で豊かな感性をもち、表現する子

(2)目標具現化の柱

【守り認め合う（安全・安心）】

命、心身を大切にし、互いを思いやり児童生徒、教職員が穏やかで和やかに過ごせる学校

ア 児童生徒、教職員が自己や仲間を理解し、互いに認め合い、大切にする学校生活の充実

イ 安全で安心な学習環境、生活環境づくりの充実

【学び高め合う（専門性）】

学びの連続性を意識した授業実践を行い、児童生徒の将来へ向けた希望を支える学校

ウ 個別最適な学びを充実させ、学びの積み重ねが分かる教育活動の実践

エ 児童・生徒が笑顔で夢中になれる授業の充実

【つながり合う（連携）】

児童生徒の学びを支えてくれる人への感謝の気持ちを伝え、共生社会づくりに貢献する学校

オ 地域、関係機関、保護者と連携した体験的学習や表現活動の充実

カ 共に学び、共に育つ交流及び共同学習の推進

【支え合う（チーム）】

教職員が主体的に語り合い、やりがいを感じて取り組む学校

キ 資料や校務のD X化を推進し、語り合う時間の確保と時間外勤務の削減

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1)令和7年度の取組目標への評価及び成果と課題

評価基準 A：十分目標を達成することができた

B：おおむね目標を達成することができた

C：あまり目標を達成することができなかった

D：ほとんど目標を達成することができなかった

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	安全で安心な学習環境、生活環境づくりの充実	危機管理マニュアルを理解し、緊急時に取るべき行動が分かっている	A：9 B：10 C：0 D：0	A 3.5	職員の多くが緊急時に取るべき行動が分かっている。訪問教育指導時の対応等、マニュアルの必要な箇所の改訂を進めている。
		不良個所の迅速な改善と、物品の在庫状況の確認を行っている。	A：10 B：9 C：0 D：0	A 3.5	安全を最優先に不良個所の改善を進めた。また、児童生徒の学習や職員の勤務に支障のないように、物品の管理を行った。
イ	児童生徒、教職員が自己や仲間を理解し、互いに認め合い、大切にする学校生活の充実	児童生徒が自分のことに自信をもって取組、友だちに関わろうとすることができ	A：7 B：12 C：0 D：0	B 3.4	教師の支援を受けて、自分に合った方法で活動に取り組み、友だちに自分なりの方法で気持ちを伝えようとする姿が見られた。

ウ	生活年齢、的確な実態把握に基づいた授業実践をし、学びの積み重ねがわかる教育活動の実践	児童生徒、一人ひとりの学びの積み重ねを教職員間で共有できる	A : 11 B : 8 C : 0 D : 0	A 3.5	学部回答で児童生徒の学びの積み重ねを共有し、授業づくりに生かすことができた。
		児童生徒が、「わかった、できた、またやりたい」という気持ちで活動し、自分の意志や気持ちを表現している	A : 12 B : 7 C : 0 D : 0	A 3.6	言葉や身振り、機器の使用等、自分に合った方法で、欲しい物ややりたい活動を選んだり、楽しさややりがいを表したりする姿が見られた。
		実態把握をし、児童生徒一人一人に合ったコミュニケーション手段を取り入れている	A : 13 B : 6 C : 0 D : 0	A 3.7	一人一人に合った方法でコミュニケーション上の理解や表出を促し、向上する姿が見られた。
エ	教職員が主体的に語り合い、やりがいを感じて取り組む授業改善や業務改善の充実	「〇〇したい！どうしたらできる？」の問いや考えがある授業を行っている	A : 5 B : 14 C : 0 D : 0	B 3.3	子どもの思考に沿った単元設定や授業展開を行った結果、自分なりの問いや考えをもつ姿が見られた。 ただ、問いや考えを引き出す教師の工夫はまだ難しい場合も多い。
		教職員が授業準備や反省の時間を十分に取って、授業改善が重ねられる	A : 11 B : 8 C : 0 D : 0	A 3.6	予定の調整や、細かな業務の改善を図ることで、授業準備や反省を十分に行い、授業改善を重ねられた。
オ	地域、関係機関、保護者と連携した体験的学習や表現活動の充実	児童生徒、教職員、保護者、地域の方が、交流をしてよかったと思っている	A : 15 B : 4 C : 0 D : 0	A 3.8	ボッチャや共同制作、読み聞かせ、センターとの合同の催し物等で地域の方々と交流し、充実感ある活動に児童生徒、教職員の満足度は高かった。
カ	共に学び、共に育つ交流及び共同学習の推進	児童生徒が、同世代とのかかわりを楽しみ、自分からかかわっている	A : 2 B : 17 C : 0 D : 0	B 3.1	学校間交流や交流圏交流を計画的に進め、活動を楽しむ様子が見られた。ただ、主体的にかかわることへの支援は難しく、内容を含めて、今後工夫していった。

(2) 令和8年度の取組目標・達成方法・成果目標

【守り認め合う（安全・安心）】

命・心身を大切にし、互いを思いやり児童生徒、教職員が穏やかで和やかに過ごせる学校

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	児童生徒、教職員が自己や仲間を理解し、互いに認め合い、大切に する学校生活の充実	・他者と一緒に活動する機会や役割のある学習活動を設定する。 ・生徒の興味関心があることや得意とすることを活動の中心とする。	・児童・生徒が安心して人と関わることができている。	学部
		・道徳の視点をふまえた人権研修やディスカッションを行い、重度重複障害の児童生徒にとっての人権を考える。	・教職員は、児童生徒一人ひとりの立場に立って、人権について考え、意識をもって児童生徒に関わっている。	教務・生徒指導課
イ	安全で安心な学習環境、生活環境づくりの充実	・危機管理マニュアルを教職員がいつでも日常的に確認できるようにする。	・教職員は、予告なし避難訓練や緊急時に行わなければならないことを考え、行動できている。	保健安全課

【学び高め合う（専門性）】

児童生徒の将来像を見据えた、学びの連続性を支える学校

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ウ	個別最適な学びを充実させ、学びの積み重ねが分かる教育活動の実践	・学部会や掲示板等で、単元カードや授業カードを共有し、話し合ってより良い授業を目指す。 ・協力して学習の準備をし、授業後は評価を共有する。	・教員は、児童・生徒の成長を共感し、個々の次の目標を明確に設定できたと実感している。	学部
		・自立活動の「コミュニケーションツール」と「身体の動き」を中心に実態把握を行い、明確化した個々の特性を学習計画に反映する。	・児童・生徒がコミュニケーションツールを使い、自分から伝えたり動かそうとしたりすることができている。	自立・情報課
		・デジタルプラットフォームと統一様式について理解し、活用する。 ・保護者にわかりやすく説明したり、関係機関と情報共有を図ったりする。	・教員は、統一様式を活用して児童生徒の学びの積み重ねを把握し、学習内容や目標を明確にできた。	教務・生徒指導課
エ	児童・生徒が笑顔で夢中になれる授業の充実	・問いや考えを引き出すための教材教具や授業展開について、チーム研修で話し合い、授業改善を行う。 ・「〇〇したい！」を「できた」に変える支援方法を共有する。	・児童・生徒が「できた、もっとやりたい。」を自己表現し、自ら取り組んでいる。	研修課

【つながり合う(連携)】

児童生徒の学びを支えてくれる人と共に歩み、共生社会づくりに貢献する学校

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
オ	地域、関係機関、保護者と連携した体験的学習や表現活動の充実	・児童生徒の実態に合った活動内容の設定 ・今までのつながりがある地域、関係機関に感謝を伝える場面の設定	・児童生徒、教職員、保護者がこれまでの感謝を伝えながら地域交流をし、お互いに交流をして良かったと感じている。	進路地域支援課
カ	共に学び、共に育つ交流及び共同学習の推進	・学校間交流で、児童・生徒が互いに関わったり触れ合ったりする場面を設定し、学習を楽しめるようにする。	・同年代の友達や、なじみのない人とのやり取りを受け入れたり楽しんだりしている。	学部

【支え合う(チーム)】

教職員が主体的に語り合い、やりがいを感じて取組む学校

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
キ	資料や校務の DX 化を推進し、語り合う時間の確保と時間外勤務の削減	・会議の持ち方を工夫し、協議事項に時間をかけられるようにする。 ・校務での生成 AI の活用について具体例を示す。 ・専門的内容については、外部の専門家間、他校の教員間と連携する。	・教職員は、児童・生徒のあらわれや授業、環境設定等についてより充実した話し合いができています。	学部 教務・生徒指導課 自立・情報課
		・月に一度定時退勤日を設定する。 ・学部内業務の偏りがないように分担をし、組織的に共同作業ができるようにする。 ・閉校に向けた業務の計画を立て、見通しをもち、協働して行う。	・時間外勤務が月 45 時間以下である教職員 100% ・教職員は主体的に閉校に向けての業務に携わっている。	学部

4 監査対象期間における特色ある取組

年 度	取 組 概 要	成果及び課題
令和 7年度	地域、関係機関、保護者と連携した体験的学習や表現活動の充実 ・学校だより、学校掲示板の活用による広報活動 ・地域施設での作品展示 ・地域での体験的学習の充実（地域資源の活用） ・近隣施設・地域の方々を学校行事に招待 ・日常的に隣接施設との情報交換	・児童生徒の学校だよりお届けによる地域住民との交流（学校便りアンケートの実施） ・屋外掲示板（2カ所）の掲示（Nanstagram）による広報活動（常時掲示）（毎月2回展示替え）（南スタアンケートの実施） ・児童生徒の作品展示（常時展示）（年4回展示替え） （JA静岡市本店・静岡市立南部図書館・健康文化交流館「来・て・こ」） - 展示作品アンケートの実施 ・特別養護老人ホーム「小鹿苑」訪問（年3回） ・地域住民を講師にした交流授業（年3回）（ちぎり絵・墨絵・ウクレレ） ・地域住民による本の読み聞かせ（年4回）（西豊田地区社協・「来・て・こ」） ・学校行事への近隣施設の招待 - なんぶっことボッチャ（年5回）（ひまわり事業団・西豊田地区社協・「来・て・こ」） - 音楽会・夏まつり（各1回）（ひまわり事業団・済生会療育センター令和） ・壁画共同制作による駿河総合高校生徒との交流 ・「なんぶっことボッチャ（交流ボッチャ大会）」での近隣住民との交流 ・済生会療育センター令和との「なんぶっこハレ☆ばれカーニバル」共同開催 ・静岡東ロータリークラブとの植栽活動を通じた交流 ・済生会療育センター令和との情報共有（センター連絡会 毎月開催） 本校における地域交流は、児童生徒と地域住民が心を通わせ、双方にとって大きな成長と生きがいにつながる貴重な機会となった。 【直接交流：自然な関わりを通して】 ・隣接施設への入所生活のために、人との関わりが限定的である児童生徒にとって、様々な方の接することで社会性を高めることができた。 ・来校する方々には、実際のふれあいを通して本校の教育活動や子どもたちの素顔を知っていただいた。特別支援学校のイメージを肯定的なものにし、理解者を増やすことができた。 ・日頃からボッチャを活発に行っている本校にとって、地域の方々を招いてのボッチャ交流では、児童生徒が自信を持って関わる事ができた。来校者の

		中には、「初めてボッチャをやった。」という方もいて、新しい体験をしていただくことができた。 【直接交流：外部の専門的な力を授業に活用する】 ・地域の人材を授業に活用し、学校で設定することが難しいプロの楽器演奏や専門的な技術文化に触れる機会をつくることができた。それにより、児童生徒の豊かな感性を育んだ。 ・地域の方々には、長年培ってきた技術や特技を発揮していただくことで、やりがいや楽しさを感じていただいた。 【間接交流を通して】 ・近隣施設での図工作品展示や、屋外掲示板による教育活動の情報発信では、児童生徒ののびやかな表現や、日頃の教育活動を知っていただくことができた。紙面や Google フォームでのアンケートを通して、温かい感想を寄せていただいた。
令和 8年度	地域、関係機関、保護者と連携した体験的学習や表現活動の充実 ・学校だより、学校掲示板の活用による広報活動 ・地域施設での作品展示 ・地域での体験的学習の充実（地域資源の活用） ・近隣施設・地域の方々を学校行事に招待 ・日常的に隣接施設との情報交換	・児童生徒の学校だよりお届けによる地域住民との交流 ・屋外掲示板（2カ所）の掲示（Nanstagram）による広報活動（常時掲示）（毎月2回展示替え） ・児童生徒の作品展示（常時展示）（年3回展示替え）（J A 静岡市本店・静岡市立南部図書館・健康文化交流館「来・て・こ」） - 展示作品アンケートの実施 ・特別養護老人ホーム「小鹿苑」訪問 3回 ・地域住民を講師にした交流授業 1回 （リコーダー） ・地域住民による本の読み聞かせ 2回 （来・て・こ） ・みんなでボッチャ 近隣施設の招待 2回 （来・て・こ） ・壁画共同制作による駿河総合高校生徒との交流 ・閉校記念作品共同制作によるひまわり事業団との交流 ・済生会療育センター令和との情報共有（センター連絡会 毎月開催）

5 教職員について

(1) 令和7年度異動状況

(単位：人)

区分	本務職員								臨時・ 会計年度任用職員				合 計
	校 長	教 頭	事 務 長	教 諭	養 護 教 諭	主 査	主 事	小 計	教 諭 (臨)	医 療 的 ケ ア 看 護 職 員	非 常 勤 労 務 職 員	小 計	
転出者				3				3					3
退職者											3	3	3
転入者													0
新任者									1		3	4	4
差引増減	0	0	0	△3	0	0	0	△3	1	0	0	1	△2

(2) 現員数

ア 職員の配置状況

(令和8年6月30日現在) (単位：人)

本務職員								臨時・ 会計年度任用職員				合 計
校 長	教 頭	事 務 長	教 諭	養 護 教 諭	主 査	主 事	小 計	教 諭 (臨)	医 療 的 ケ ア 看 護 職 員	非 常 勤 労 務 職 員	小 計	
1	1	1	17	1	1	1	23	1	1	3	5	28

イ 職員の年齢

(令和8年6月30日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20 歳未満	0	
20 歳以上 30 歳未満	2	
30 歳以上 40 歳未満	3	
40 歳以上 50 歳未満	6	
50 歳以上 56 歳未満	7	
56 歳以上 61 歳未満	2	
61 歳以上	3	暫定再任用職員 (2)
計	23	平均年齢 47.6 歳

(3)健康管理について

ア 取組の状況

(ア) 令和7年度

取組事項	具体的内容	成果及び課題
○健康診断・健康相談の実施	・職員健診受診による再検査・精密検査の受診を促す。 ・必要に応じ、健康管理医による面接を実施する。	・職員の健康診断受診率 100% ・健康管理医面接 0件
○職場の健康づくり	・男女休養室を整備し、利用しやすい環境を整える。 ・毎朝、腰痛予防体操を実施する。 ・校内の相談体制を充実させる。 ・「職場の健康づくり支援事業」を活用する。	・部主事が学部内の職員の様子について気になることは管理職に共有した。 ・腰痛予防体操（毎朝） ・職場の健康づくり支援事業（ヨガ実技講習会の12月実施）
○職員安全衛生委員会	・年間計画に基づき、テーマを決めて行う。 ・職場巡視チェックリストに基づき、管理医による職場巡視を行う。 ・職員の安全と健康に関する情報を共有する。	・職員安全衛生委員会 12回 ・健康管理指導 6回 ・健康管理医職場巡視 6回
○長時間労働への指導	・月1回、完全定時退庁日を設定する ・19時以降の業務は申請制とし、19時30分には完全施錠する ・18時30分のアラームで退庁時間を意識させる。 ・時間外勤務月45時間以内、年間360時間以内を周知する	・完全定時退庁日 月1回実施 ・施錠19時30分以降 年31日 ・時間外勤務 - 月45時間超過 0人 - 年360時間超過 0人 （いずれも管理職を除く）

(イ) 令和8年度

取組事項	具体的内容
○健康診断・健康相談の実施	・職員健診受診による再検査・精密検査の受診を促す。 ・必要に応じ、健康管理医による面接を実施する。
○職場の健康づくり	・男女休養室を整備し、利用しやすい環境を整える。 ・毎朝、腰痛予防体操を実施する。 ・校内の相談体制を充実させる。 ・「職場の健康づくり支援事業」を活用する。
○職員安全衛生委員会	・年間計画に基づき、テーマを決めて行う。 ・職場巡視チェックリストに基づき、管理医による職場巡視を行う。 ・職員の安全と健康に関する情報を共有する。
○長時間労働への指導	・月1回、完全定時退庁日を設定する ・19時以降の業務は申請制とし、19時30分には完全施錠する ・時間外勤務月45時間以内、年間360時間以内を周知する ・完全定時退庁日 月1回実施

イ 健康管理状況

(ア) 令和7年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 26人
	職 員 数 26人
受 診 率	100.0%
県平均受診率	100.0%

a 未受診の理由

(イ) 令和8年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		0人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	0人
B 2		要経過観察	0人
C 1	勤務をほぼ平常に行ってよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	0人
C 2		要経過観察	0人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	11(11)人
D 2		要経過観察	6(6)人
D 3		医 療 不 要	6(6)人
区 分 者 計			23(23)人
未区分者数			0人
合 計			23(23)人

a 管理区分A～C2該当者
に対する措置状況

b 未区分の理由

(a) 産休・育休 人
(b) 新規採用 人
(c) 自己都合による未受診 人
(d) そ の 他 () 人

(4) 教職員の研修について

令和7年度	
内容・方法	成果（◇）・課題（◆）
<研修テーマ> 「〇〇したい！どうしたらできる？」の問いや考えを引き出す授業づくり <目的> ・児童生徒にとっての「〇〇したい」をその単元・授業でどう考えるかを職員間で共有し、それを元に子どもの思考の流れを想定した授業づくりをしていく。 <内容> ・国語科を窓口に、児童生徒の「〇〇したい！」という問いや考え、思考の流れを想定した授業設計をし、学習評価を授業改善に活かす。 ・共通のアセスメントツールを活用した児童生徒の的確な実態把握や目標設定を行い、共通理解する。 ・少人数の研修チームを中心に授業研究を進め、定期訪問、校内授業研究会を通じて得た指導助言や成果を授業実践に活かしていく。研修チームは全校を2つに分け、職員の希望を募って1年間同じ児童生徒の成長を追っていく。	◇チーム研修で子どもにとっての「〇〇したい」を職員間で共有することができたことで、子どもの意欲や試行錯誤する姿につながった。 ◇「どうしたらできる？」の思考が、授業の中でたくさん引き出されていた。 ◇学校目標「自ら学び 生活を高める 心豊かな子」につながる姿が多く見られた。 (どうすれば良いかを子ども自身が決めて動く主体的な学びの姿、自己表現や問題解決能力の向上、物語の世界を豊かに味わう心、など) ◆子どもの「〇〇したい」をたくさん考えることはできたが、学習指導要領の段階目標と授業の目標とが一致していなかった。 ◆「〇〇したい！どうしたらできる？」を国語としてどう考えるか、目標設定から考えていく必要がある。国語科の目標達成に向かう子どもの思考を考えるようにする。 ◆各教科等間のつながり、生活へのつながりについて確認・共有する。 ◆訪問教育の生徒を事例にしたが、体調不良等で継続した指導が困難だった。

令和8年度	
<研修テーマ> 「〇〇したい」を大切にしたい授業づくり～学習指導要領「国語科」の視点に基づいた目標設定 <目的> ・本校の児童生徒にとっての「〇〇したい」をその単元・授業でどう考えるかを職員間で共有し、それを元に子どもの思考の流れを想定した授業づくりをしていく。 <内容> ・児童生徒の「〇〇したい」を国語科の視点から考え、子どもの思考の流れを想定した授業設計をし、学習評価を授業改善に活かす。 ・共通のアセスメントツールを活用した児童生徒の的確な実態把握や目標設定および定期的な見直しを行い、学習グループの教員間で共通理解する。 ・5月と6月の授業研究では、7月の定期訪問での中心授業について全教員が同じ部屋に集まり、4人程度の小グループに分かれて検討し、最後に全教員で情報共有する。 ・定期訪問での学びを受けて校内の教職員全員で授業力を上げるために、その後の授業研究では、国語の授業を担当している教員を中心に小グループに分かれ、授業の目標や内容、教材、支援方法などを検討、授業改善を行なった後、全体で情報共有する。	

6 防災対策について

- ア 「お、は、し、も」の災害時の避難標語を、児童生徒に徹底する。
- イ 学校防災計画に基づき、教職員の危機管理意識を向上する。
- ウ 隣接する施設や保護者との連携を図り、実践的な防災訓練を行う。
- エ 自分の身は自分で守ることを基本に、児童生徒への防災・減災の意識付けを行う。
- オ 防災対策の見直しをし、学校の実情に即した持続可能な対策を強化する。

【令和7年度】

日時	訓練内容
第1回 5月1日(木)	南部特支・センターとの合同地震避難訓練、引き渡し訓練
第2回 8月4日(月)	南部特支 防災研修(避難滑り台、防災倉庫物品確認など)
第3回 9月1日(月)	視覚特支・センターとの総合避難訓練
第4回 11月(未定)	視覚合同予告なし避難訓練
第5回 1月(未定)	視覚合同予告なし避難訓練

【令和8年度】

日時	訓練内容
第1回 4月30日(木)	南部特支・センターとの合同地震避難訓練、引き渡し訓練
第2回 6月12日(金)	センターとの総合避難訓練
第3回 7月28日(火)	南部特支 防災研修(防災食確認、調理・試食など)
第4回 11月(未定)	予告なし避難訓練
第5回 1月(未定)	予告なし避難訓練

7 学校開放について

施設開放委員会を設置し、施設開放に対応している。

【令和7年度】

開放実績なし

【令和8年度】

開放実績なし

(令和8年6月30日現在)

□□□□□

事務執行の根拠法令調

項目	根拠法令
学校教育に関するもの	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第72条、第73条、 第74条、第76条、第77条、第80条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立特別支援学校学則 静岡県就学指導委員会規則 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領
学校の管理・運営に関すること	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第21条、第22条） 学校保健安全法（第15条、第27条） 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第3条、第4条） 静岡県教育委員会処務規程 特別支援学校への就学奨励に関する法律（第2条、第3条） 特別支援学校への就学奨励に関する法律施行令 特別支援学校への就学奨励に関する法律施行規則 特別支援教育就学奨励費負担金等及び要保護及び準要保護 児童生徒奨励費補助金交付要綱 要保護及び準要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育 就学奨励費補助金交付要綱 いじめ防止対策推進法

□□□□□

学校施設の概要

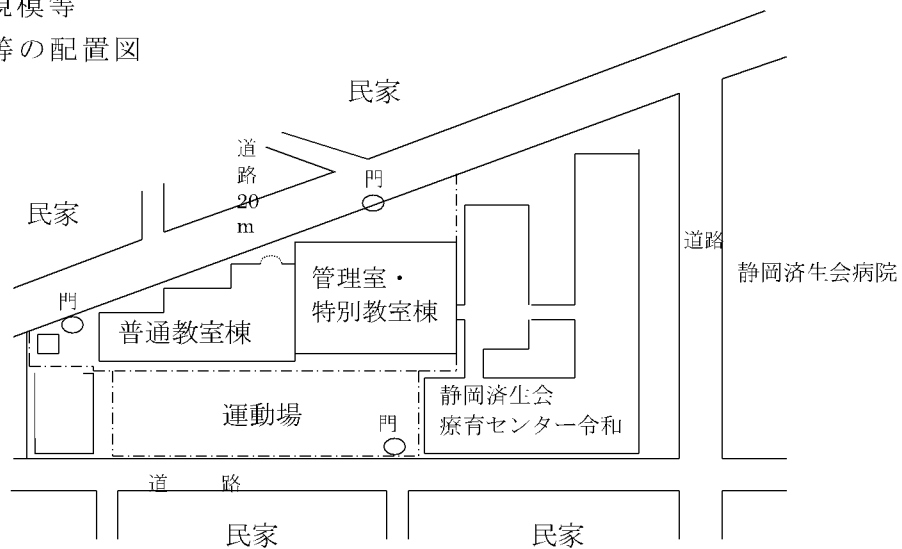
1 面積及び所有区分

(令和8年6月30日現在)

区 分	面 積 ㎡	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 ㎡	国 有 ㎡	市町村有 ㎡	後援会有 ㎡	民有 ㎡	
学校敷地	4,036.49	4,036.49					
内 訳	校舎敷地	2,568.82	2,568.82				
	運動場敷地	1,467.67	1,467.67				
校 舎	建 1,707.36	1,707.36					含体育館 601.30㎡
	延 4,150.48	4,150.48					
その他の建物	建 21.00	21.00					
	延 21.00	21.00					
プ ー ル	80.5	80.5					7×11.5m

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等（法面・演習林等を除く）

区 分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当 校	4,036.49 ㎡	4,150.48 ㎡	1,467.67 ㎡
県 平 均	18,843.25 ㎡	6,361.36 ㎡	5,244.43 ㎡

□□□□□

在 籍 生 徒 調

(令和8年6月30日現在)

学年	課程 区分	小学部									中学部								
		本校			訪問			合計			本校			訪問			合計		
		男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
1年	入学者	1	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	1
	増加			0			0	0	0	0			0			0	0	0	0
	減少			0			0	0	0	0			0			0	0	0	0
	現在	1	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	1
2年	入学者	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1		1	1	0	1
	増加			0			0	0	0	0			0			0	0	0	0
	減少			0			0	0	0	0			0	1		1	1	0	1
	2年時当初	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	増加			0			0	0	0	0		1	1			0	0	1	1
	減少			0			0	0	0	0			0			0	0	0	0
	現在	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1
	入学者	0	1	1	1	0	1	1	1	2	0	0	0	0	1	1	0	1	1
3年	増加			0			0	0	0	0			0			0	0	0	0
	減少			0			0	0	0	0			0			0	0	0	0
	2年時当初	0	1	1	1	0	1	1	1	2	0	0	0	0	1	1	0	1	1
	増加			0			0	0	0	0			0			0	0	0	0
	減少			0			0	0	0	0			0			0	0	0	0
	3年時当初	0	1	1	1	0	1	1	1	2	0	0	0	0	1	1	0	1	1
	増加			0			0	0	0	0			0			0	0	0	0
	減少			0			0	0	0	0			0			0	0	0	0
4年	現在	0	1	1	1	0	1	1	1	2	0	0	0	0	1	1	0	1	1
	入学者	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
	増加			0			0	0	0	0									
	減少			0			0	0	0	0									
	2年時当初	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
	増加			0			0	0	0	0									
	減少			0			0	0	0	0									
	3年時当初	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
5年	増加			0			0	0	0	0									
	減少			0			0	0	0	0									
	4年時当初	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
	増加			0			0	0	0	0									
	減少			0			0	0	0	0									
	5年時当初	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
	増加			0			0	0	0	0									
	減少			0			0	0	0	0									
6年	現在	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
	入学者	1	0	1	0	0	0	1	0	1									
	増加			0			0	0	0	0									
	減少			0			0	0	0	0									
	2年時当初	1	0	1	0	0	0	1	0	1									
	増加	2		2			0	2	0	2									
	減少	2		2			0	2		2									
	3年時当初	1	0	1	0	0	0	1	0	1									
合計	増加			0		1	1	0	1	1									
	減少			0			0	0	0	0									
	4年時当初	1	0	1	0	1	1	1	1	2									
	増加			0			0	0	0	0									
	減少			0			0	0	0	0									
	5年時当初	1	0	1	0	1	1	1	1	2									
	増加			0			0	0	0	0									
	減少			0		1	1	0	1	1									
	6年時当初	1	0	1	0	0	0	1	0	1									
	増加			0			0	0	0	0									
	減少			0			0	0	0	0									
	現在	1	0	1	0	0	0	1	0	1									
合計		2	2	4	1	0	1	3	2	5	1	1	2	0	1	1	1	2	3

□ □ □ □ □

卒業生の動向調

区 分		中学部	高 等 部		合 計
			本 科	専攻科	
高等学校 (本科)	全日制				
	定時制				
	通信制				
特別支援学校高等部		2			2
その他高等学校等					
大学等	大学(学部)				
	短期大学(本科)				
	大学・短大の通信教育学部等				
	その他大学等				
特別支援学校高等部専攻科					
専修学校(専門課程)					
専修学校(一般課程)・各種学校					
公共職業能力開発施設等					
就 職					
上 記 以 外 ※		1			1
不 詳 ・ 死 亡					
計 (卒業者総数)		3			3

(再掲) 「上記以外※」のうち、社会福祉施設等入所、通所者

区 分	中学部	高 等 部		合 計
		本 科	専攻科	
児童福祉施設				
障害者支援施設	1			1
(うち就労系支援事業利用者)	(0)	()	()	(0)
医療機関				
計	1			1

□ □ □ □ □

生徒の状況

1 生徒の居住地及び通学方法

(1) 居住地 (令和8年6月30日現在) (単位:人)

市町名	静岡市	合 計
生徒数	8	8
構成比%	100.0	100%

(2) 通学方法 (令和8年6月30日現在) (単位:人)

区 分	徒歩	合 計
生徒数	6	6
構成比%	100.0	100%

*訪問教育は除く

(3) 自転車通学に係るルールや要件

ヘルメット所持要件	有 無	ヘルメット着用要件	有 無
-----------	------------	-----------	------------

(4) ヘルメット所持、借用率 (令和8年6月30日現在) (単位:人)

入 学 年 度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	合 計
自転車通学者数	0	0	0	0
ヘルメット所持者数	0	0	0	0

着用率・着用状況	自転車通学なし
----------	---------

(5) 訪問教育の状況 (令和8年6月30日現在) (単位:人)

訪問教員等			市 町	静岡市	計
小・中 学 部	教 諭	2	小学部	1	1
	講 師		中学部	1	1
高等部	教 諭		高等部		
	講 師				
計		2	計	2	2

2 部（クラブ）の加入状況

＜中学部＞

（令和 8 年 6 月 30 日現在）（単位：人）

区 分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ) 数					
男子	1 年				
	2 年				
	3 年				
	計 (A)				
	構成比				
女子	1 年				
	2 年				
	3 年				
	計 (B)				
	構成比				
合計	(A + B)				
	構成比				

3 障害別児童生徒数

（令和 8 年 6 月 30 日現在）（単位：人）

		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計	学級数
小学部	単一障害	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	重複障害	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	肢体重複	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	合計	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
中学部	単一障害	☐	☐	☐				☐	☐
	重複障害	☐	☐	☐				☐	☐
	肢体重複	☐	☐	☐				☐	☐
	合計	☐	☐	☐				☐	☐
訪問	小学部	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	中学部	☐	☐	☐				☐	
	合計	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

4 起因疾患別児童生徒数

（令和 8 年 6 月 30 日現在）（単位：人）

区 分	脳性疾患	筋原性疾患	脊柱脊髄疾患	その他	計
小学部	☐	☐	☐	☐	☐
中学部	☐	☐	☐	☐	☐
訪 問	☐	☐	☐	☐	☐
計	☐	☐	☐	☐	☐

□□□□□

預 金 調

(令和8年6月30日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高 (円)	摘要
清水銀行 東静岡支店	無利息型 普通預金	2281960	静岡県立静岡南部特別支援学校 資金前渡者	0	給与及び資金前渡金 の受領
静岡銀行 池田支店	無利息型 普通預金	0481047	(白振口) 静岡県立静岡南部特別 支援学校資金前渡者	0	公共料金等の自動振 替
静岡銀行 池田支店	無利息型 普通預金	0242428	静岡県立静岡南部特別支援学校 奨励費代理受領者	0	就学奨励費の代理受 領
残 高 合 計				0	

□□□□□

郵 券 等 受 払 調

(令和8年6月30日現在)

(単位：枚、円)

区分	種類	令和7年度						令和8年度								概要
		繰越		受入		払出		繰越		受入		払出		差引現在高		
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	
郵券	84円券	37	3,108	0	0	37	3,108	0	0	0	0	0	0	0	0	公文書 発送
計		/	3,108	/	0	/	3,108	/	0	/	0	/	0	/	0	
iTunes Card	1,500円分	0	260	0	0	0	0	0	260	0	0	0	0	0	260	アプリ ダウン ロード
	3,000円分	0	520	0	0	0	0	0	520	0	0	0	0	0	520	
	10,000円分	0	160	0	0	0	0	0	160	0	0	0	0	0	160	
計		0	940	0	0	0	0	0	940	0	0	0	0	0	940	

□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年度)

節名	会計	款	項	目	執行済額(円)		
					令和6年度	令和7年度	左のうち、6年度からの繰越額分
(12) 委 託 料	01 一般会計	11 教育費	07 特別支援 学校費	02 特別支援学 校管理費		784,309	
計					775,951	784,309	0
(14) 工 事 請 負 費						0	
計					0	0	0
(16) 公有財産 購 入 費						0	
計					0	0	0
(17) 備 品 購 入 費	01 一般会計	11 教育費	07 特別支援 学校費	02 特別支援学 校管理費		424,500	
計					597,300	424,500	0
(18) 負 担 金、 補 助 及 び交付金	01 一般会計	11 教育費	07 特別支援 学校費	02 特別支援学 校管理費		55,000	
計					35,000	55,000	0
(21) 補償、補填 及 び 賠 償 金						0	
計					0	0	0

□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和8年度)

(令和8年6月30日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額(円)	
					左のうち、7年度からの繰越額分	
(12) 委託料	01 一般会計	11 教育費	07 特別支援 学校費	02 特別支援 学校管理 費	139,920	0
計					139,920	0
(14) 工事 請負費					0	0
計					0	0
(16) 公有財産 購入費					0	0
計					0	0
(17) 備品 購入費	01 一般会計	11 教育費	07 特別支援 学校費	02 特別支援 学校管理 費	137,500	0
計					137,500	0
(18) 負担金、 補助及 び交付金	01 一般会計	11 教育費	07 特別支援 学校費	02 特別支援 学校管理 費	6,000	0
計					6,000	0
(21) 補償、補填 及 賠償金					0	0
計					0	0

□□□□□

委託料に関する調

(令和7年度)

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契約金額			契約 締結 方法	契約期間	支 出 年月日	金額	委託業務 の内容	摘要
				当初額	変更 増減額	計						
1	自家用電気工作 物保安管理業務	菊池電気保 安管理事務 所	74,432	74,432		74,432	随契	R7.4.1 } R8.3.31	R7.10.21 R8.4.15 小計	34,770 39,662 74,432	電気工作物点検 月1回点検	随契 1号 (少額)
2	消防用設備等 保守点検業務	鈴与技研 (株)	18,857	18,857		18,857	随契	R7.4.1 } R8.3.31	R7.9.12 R8.4.20 小計	8,800 10,057 18,857	消防設備点検	随契 1号 (少額)
3	エレベーター 保守点検業務	ジャパン エレベータ サービス 神奈川株	290,400	245,520		245,520	随契	R7.4.1 } R8.3.31	R7.5.20 R7.6.20 R7.7.22 R7.8.22 R7.9.22 R7.10.22 R7.11.21 R7.12.24 R8.1.20 R8.2.24 R8.3.23 R8.4.21 小計	20,460 20,460 20,460 20,460 20,460 20,460 20,460 20,460 20,460 20,460 20,460 20,460 245,520	定期点検 月1回点検 定期検査 年1回点検	随契 1号 (少額)
4	産業廃棄物収集 運搬・処分業務	(有)エコダス	247,500	247,500		247,500	随契	R7.7.14 } R7.9.30	R7.9.17	247,500	産業廃棄物収集・ 運搬及び処分	随契 1号 (少額)
5	産業廃棄物収集 運搬・処分業務	(有)エコダス	99,000	99,000		99,000	随契	R7.10.29 } R7.1.30	R8.1.28	99,000	産業廃棄物収集・ 運搬及び処分	随契 1号 (少額)
6	産業廃棄物収集 運搬・処分業務	(有)エコダス	99,000	99,000		99,000	随契	R8.1.20 } R8.3.30	R8.4.13	99,000	産業廃棄物収集・ 運搬及び処分	随契 1号 (少額)
	事務関係計	6件								784,309		

参考

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契約金額			契約 締結 方法	契約期間	支 出 年月日	金額	委託業務 の内容	摘要
				当初額	変更 増減額	計						
1	中央特別支援学 校外4校消防用 設備等保守点検 業務	旭産業株		4,125,000		4,125,000		R7.4.1 } R8.3.31			機器点検 年1回 機器点検・総合点検 年1回 防火設備点検 年1回	中央特別 支援学校
2	静岡農業高校外 13校可燃物収集 運搬処分業務	㈱静岡清掃 企業		運搬 @18,000 / / 回 処分 @15.0円/kg		運搬 @18,000 / / 回 処分 @15.0円/kg		R7.4.7 } R8.3.31			毎週月・水・金 年間 135回	静岡農業 高校
3	静岡市葵区・駿河 区県立学校建築基 準法第12条に基づ く定期点検業務	N.concept 建築計画二 級建築士事 務所		3,520,000		3,520,000		7.8.12 } 8.1.30			建築基準法第12条に基 づく定期点検	駿河総合 高校
4	駿河総合高校外 13校警備業務	エスピトーム株		12,999,360		12,999,360		6.10.1 } 11.9.30			警報機器による機械警 備	駿河総合 高校
	計	4件										

□□□□□

委託料に関する調

(令和8年度)

(令和8年6月30日現在)

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契約金額			契約 締結 方法	契約期間	支 出 年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更 増減額	計						
1	自家用電気工作 物保安管理業務	菊池電気保安 管理事務所	74,432	74,432		74,432	随契	R8.4.1 } R9.3.31			電気工作物 点検 月1回点検	随契 1号 (少額)
									小計	0		
2	消防用設備等 保守点検業務	鈴与技研㈱	22,628	21,057		21,057	随契	R8.4.1 } R9.3.31			消防設備等 保守点検 年2回点検	随契 1号 (少額)
									小計	0		
3	エレベーター 保守点検業務	ジャパン エレベータ サービス 神奈川㈱	316,800	245,520		245,520	随契	R8.4.1 } R9.3.31	R8.5.20 R8.6.22	20,460 20,460	定期点検 月1回点検 定期検査 年1回点検	随契 1号 (少額)
									小計	40,920		
4	産業廃棄物収集 運搬・処分業務	㈱エコダス	99,000	99,000		99,000	随契	R8.4.1 ~ R8.5.29	R8.4.30	99,000	産業廃棄物収集・ 運搬及び処分	随契 1号 (少額)
	事務関係計	4件								139,920		

参考

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契約金額			契約 締結 方法	契約期間	支 出 年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更 増減額	計						
1	中央特別支援学 校外4校消防用 設備等保守点検 業務	旭産業㈱		4,138,200		4,138,200		R8.4.1 } R9.3.31			機器点検 年1回 機器点検・総合点検 年1回 防火設備点検 年1回	中央特別 支援学校
2	静岡農業高校外 12校可燃物収集 運搬処分業務	㈱静岡清掃 企業		運搬 @20,000円/回 処分 @15.0円/kg		運搬 @20,000円/回 処分 @15.0円/kg		R8.4.7 } R9.3.31			毎週月・水・金 年間 134回	静岡農業 高校
3	駿河総合高校外 13校警備業務	エスビートム ㈱		12,999,360		12,999,360		R6.10.1 } R11.9.30			警報機器による機械 警備	駿河総合 高校
	計	3件										

□□□□□

負担金支出調

(令和7年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	中部地区特別支援学校肢体不自由教育研究大会参加費	中部地区特別支援学校肢体不自由教育研究大会参加費	開催要項による	肢体不自由教育の研究	円 6,000	R7.6.25
2	全国特別支援学校肢体不自由教育教頭会会費	全国特別支援学校肢体不自由教育教頭会	会則による	肢体不自由教育の研究	4,500	R7.6.27
3	全国特別支援学校肢体不自由教育教頭研究協議会参加費	全国特別支援学校肢体不自由教育教頭研究協議会	開催要項による	肢体不自由教育の研究	3,000	R7.7.7
4	防火管理・防災管理講習受講料	一般財団法人日本防火・防災協会	講習会案内による	防火管理者資格取得	8,000	R7.7.7
5	中部地区特別支援学校肢体不自由教育校長会会費	中部地区特別支援学校肢体不自由教育校長会	会則による	肢体不自由教育の研究	4,000	R7.7.10
6	中部地区特別支援学校肢体不自由教育研究協議会会費	中部地区特別支援学校肢体不自由教育研究協議会	会則による	肢体不自由教育の研究	2,500	R7.7.10
7	全国特別支援学校肢体不自由教育校長会会費	全国特別支援学校肢体不自由教育校長会	会則による	肢体不自由教育の研究	15,000	R7.7.14
8	全国肢体不自由教育研究協議会参加費	全国肢体不自由教育研究協議会	開催要項による	肢体不自由教育の研究	12,000	R7.9.12
		8件			55,000	

□□□□□

負担金支出調

(令和8年度)

(令和8年6月30日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	中部地区特別支援学校肢体不自由教育研究大会参加費	中部地区特別支援学校肢体不自由教育研究大会参加費	開催要項による	肢体不自由教育の研究	円 6,000	R8.6.29
		1件			6,000	

□□□□□

公 有 財 産 調

(令和7年度)

区 分	令和7年3月31日現在		増		減		令和8年3月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 790,301		千円		千円 24,713		千円 765,588	
土 地	m ² 4,036.49	599,707	m ²		m ²		m ² 4,036.49	599,707	
立木竹	本 19	1,070	本		本		本 19	1,070	
建 物	m ² <u>1,728.36</u> 4,171.48	157,620	m ²		m ²	21,144	m ² <u>1,728.36</u> 4,171.48	136,476	
工作物	個 59	31,904	個		個	3,569	個 59	28,335	
公有財産に準ずるもの		157						157	
電話加入権	件 3	157	件		件		件 3	157	

□□□□□

公 有 財 産 調

(令和8年度)

(令和8年6月30日現在)

区 分	令和8年3月31日現在		増		減		令和8年6月30日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 765,588		千円		千円 221		千円 765,367	
土 地	m ² 4,036.49	599,707	m ²		m ²		m ² 4,036.49	599,707	
立木竹	本 19	1,070	本		本 3	221	本 16	849	
建 物	m ² <u>1,728.36</u> 4,171.48	136,476	m ²		m ²		m ² <u>1,728.36</u> 4,171.48	136,476	
工作物	個 59	28,335	個		個		個 59	28,335	
公有財産に準ずるもの		157						157	
電話加入権	件 3	157	件		件		件 3	157	

□□□□□

行政財産貸付・使用許可調

(令和8年6月30日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量又 は面積	貸付料又は使用料		貸付又は 使用許可 期間	貸付又は使用 許可を受けた 者の氏名	貸付・ 使用許 可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	静岡市駿河区 曲金5-3-30	宅地	学校敷地	条 支線1	円 1,500	円 1,500	R8.4.1 ～ R9.3.31	中部電力パワ ーグリッド(株)静岡 営業所長	電柱 支線
2	土地	学校敷地	静岡市駿河区 曲金5-3-30	宅地	学校敷地	m ² 0.1		免除	R8.4.1 ～ R9.3.31	曲金4丁目地 区テレビ共聴 組合長	共聴用 設備 (電柱)
								1,500			

□□□□□

主 要 備 品 調

(令和8年6月30日現在)

整理 番号	区 分		品名・規格	利用状況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
1	01-04	移動書庫	移動書庫 プラスKS-U372	毎日（年間365日） 事務用に使用	H6. 3	877, 580
2	10-06	教育調理器具	昇降式調理台 L S - D 2 1 M	週2口（年間80口） 家庭科授業用に使用	H27. 12	874, 800
3	10-07	鍵盤楽器	グランドピアノ ヤマハ A 1 R	毎日（年間200日） 授業に使用	H7. 3	840, 000
4	01-14	エアコンディショナー	エアコンディショナー 6馬力シングル	夏季、冬季(年間90日) 生徒の体温調整に使用	H22. 3	787, 500
5	02-02	放送装置	放送装置 ナショナル WL-SA111	毎日（年間200日） 校内連絡、放送用に使用	H15. 2	753, 900
6	01-11	エアコンディショナー	エアコンディショナー 天吊型PCZ-RP140KC	夏季、冬季(年間90日) 生徒の体温調整に使用	H24. 3	607, 950
7	01-11	エアコンディショナー	エアコンディショナー PCZ-ZRMP45KLK	夏季、冬季(年間90日) 来客・会議に使用	H28. 7	475, 200
8	01-14	エアコンディショナー	エアコンディショナー PKZ-ERP80K	夏季、冬季(年間90日) 生徒の体温調整に使用	H27. 7	464, 400
9	01-14	エアコンディショナー	エアコンディショナー MPK-P80KK	夏季（年間90日） 生徒の体温調整に使用	H19. 7	456, 750
10	01-01	テーブル	会議用、来客用テーブル プラスWF-360	毎日（年間200日） 来客、会議に使用	H7. 2	453, 200
11	01-14	エアコンディショナー	エアコンディショナー MPK-P80FD	夏季（年間90日） 生徒の体温調整に使用	H18. 6	449, 925
12	01-14	エアコンディショナー	エアコンディショナー MPK-P80KK	夏季（年間90日） 生徒の体温調整に使用	H20. 6	441, 000
13	01-14	エアコンディショナー	エアコンディショナー MPK-P80KM	夏季（年間90日） 生徒の体温調整に使用	H21. 3	429, 450
14	01-14	エアコンディショナー	エアコンディショナー MPK-P40SGC	夏季（年間90日） 生徒の体温調整に使用	H17. 9	420, 000
15	01-14	エアコンディショナー	エアコンディショナー MPK-P80KLK	夏季（年間90日） 生徒の体温調整に使用	H20. 3	420, 000
16	01-01	移動書庫	移動書庫 プラス リンクス	毎日（年間365日） 事務用に使用	H8. 3	405, 100
17	01-14	エアコンディショナー	エアコンディショナー MPK-P80KLK	夏季（年間90日） 生徒の体温調整に使用	H23. 3	388, 500
18	04-99	その他の医療衛生機器	キハラ除菌BOX 4D	週2口（年間80口） 教材の除菌に使用	R4. 11	348, 100
19	04-99	その他の医療衛生機器	キハラ除菌BOX 4D	週2口（年間80日） 教材の除菌に使用	R4. 11	348, 100
20	02-02	放送装置	UNI-PEX アンプ BX-120	年間20回 式典・行事時に使用	R5. 12	339, 900